

石橋長英 いしはら ちやうえい、小兒科醫、醫學博士。明治二十六年四月、二十六年子
葉縣生れ（一八八二）。大正七年東京帝國大學醫科大學卒。十二年日本
醫學專門學校教授、昭和二十一年東京農業大學教授、四十七年獨協醫
科大學學長兼任。石橋小兒科醫院院長、日本國際醫學協會理事長。
譯著書、マテイマス・シェワーズ著『佛蘭西の對外文化政策―海外宣
傳、その根本原理と前提條件』（譯、昭和十六年二月十一日富山房）、
『石文記』（昭和二十七年四月、二十六日日本國際醫學協會、診斷と治
療社專業部）、『友と私』（昭和四十四年四月、二十六日京都・日本新
藥株式会社）、『フェリックス・シヨットレンダー著『エルサイン』フオ
ンベルツ―日本に於ける―ドイツ人医師の生涯と業績』（談、昭和四
十二年一月十三日京都・日本新藥株式会社）、『ベルツ博士令孫ハッ
トベルツ氏を迎えて』（昭和四十七年五月十五日日本新藥株式会社）、
G・ヴェスエゴヴィ著『日本醫學の開拓者エルウイン・ベルツ』（今井
正共訳、昭和四十九年十一月十五日京都・日本新藥株式会社）、『ベ
ルツと草津温泉―ならびに水涼秋桜子の追憶』（昭和五十六年十一月
三十一日刊）、『水涼秋桜子と私』（昭和五十七年四月、二十六日刊）
等。